

王子総合高等学校 令和4年度 年間授業計画

教科： 芸術 科目： 美術Ⅰ 単位数： 単位
 対象学年組：第 1 学年 組～ 組
 教科担当者：（1組：望月・長谷）（2組：望月・長谷）（3組：望月・長谷）（4組：望月・長谷）（5組：望月・長谷）（6組：望月・長谷）
 使用教科書：（美術1）

教科 芸術 の目標： 美的な見方、考え方を働かせ、芸術文化と幅広く関わる能力を育成する。

【知識及び技能】芸術の多様性について理解し、完成を育てる。

【思考力、判断力、表現力等】創意工夫を活かした美的表現をするための必要な技能を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】主体的、協働的な活動を通して美術を愛好する心情を育む。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
制作を通して、描画や彫刻の基本を学び自在に表現できることを目指す。風景画や彫刻を通して制作技術やその歴史を学び、知識と技術を高める。	美術表現のための技法を学びながら、実際に制作することで自らのイメージを実現化するための思考力、判断力を身に着ける。また相互鑑賞を通して互いに学び合い表現力を高め合う事を旨す。	自然や素材に向き合い、本質的な美に向かう姿勢によって主体性を引き出す。また、相互鑑賞を通して互いに学び合い主体性と人間性を高め合う事を旨す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	能	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映	鑑賞					
1 学 期	【知識及び技能】 ・石粉粘土による模刻 【思考力、判断力、表現力等】 ・細密に手と目で追う力 【学びに向かう力、人間性等】 ・相互鑑賞	・彫刻制作による素材との対話 ・教材：モデルのお菓子、石粉粘土等	○			○	・期日内に完成できたか ・教材教具を活かして制作できたか ・最も強調したい印象を引き出すために、自らの作品を構成、試行錯誤を繰り返し、創造的な表現にたどり着けたか。	○	○	○	7
	【知識及び技能】 ・シュルレアリスムについての知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・「優美な死骸」法による制作 【学びに向かう力、人間性等】 ・相互鑑賞	・「優美な死骸」法による思考実験と美しい構成のための試行錯誤 ・教材：アクリルガッシュ キャンバスボード等 ・一人一台端末の活用		○		○	・期日内に完成できたか ・教材教具を活かして制作できたか ・最も強調したい印象を引き出すために、自らの作品を構成、試行錯誤を繰り返し、創造的な表現にたどり着けたか。	○	○	○	7
2 学 期	【知識及び技能】 ・印象派と風景画の歴史 【思考力、判断力、表現力等】 ・構図の取り方、色彩 【学びに向かう力、人間性等】 ・相互鑑賞	・風景画制作による自然との対話 ・教材：アクリルガッシュ キャンバスボード等 ・一人1台端末の活用 有	○			○	・期日内に完成できたか ・教材教具を活かして制作できたか ・最も強調したい印象を引き出すために、自らの作品を構成、試行錯誤を繰り返し、創造的な表現にたどり着けたか。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 ・アニメーションやイラストレーションの技法を通して表現方法の多彩さを学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・イラストレーションを制作する 【学びに向かう力、人間性等】 ・相互鑑賞	・イラストレーション制作による知識技能の活用 ・コピック等 ・一人一台端末の活用			○	○	・期日内に完成できたか ・教材教具を活かして制作できたか ・最も強調したい印象を引き出すために、自らの作品を構成、試行錯誤を繰り返し、創造的な表現にたどり着けたか。	○	○	○	6
3 学 期	【知識及び技能】 ・自らが身に着けた技法や知識を活用し自由制作を行う 【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら考え、計画し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・相互鑑賞・プレゼンテーション	・自らが身に着けた技法や知識を活用し自由制作を行う ・自らが選んだ教材・教具 ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	・期日内に完成できたか ・教材教具を活かして制作できたか ・最も強調したい印象を引き出すために、自らの作品を構成、試行錯誤を繰り返し、創造的な表現にたどり着けたか。	○	○	○	12